

2022年度（令和4年度）研究計画

教育研究部会

1 研究主題

自分で選ぶ、自分で決める 子ども主体の学び
自分で選ぶ、自分が決めるなかで、知的好奇心・意欲を高め、学び続ける児童を育てる授業

2 めざす子ども像

福山市 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども
西部地区めざす子ども像 確かな学力を身につけ、自ら進路を切り拓く子ども

神村小学校 自ら考え、表現する・やり切る・関わり合うことができる子ども（3つのM）

3 授業研究

算数科を柱として、外国語活動・外国語科、道徳、ICT、体育、縦割り班活動等、縦断的、横断的な、学習者起点の学びを行う。

4 研究体制

①教育研究部（部のメンバー）

- ・学習規律の確立 ・家庭学習、自主学習の取組 ・作品募集
- ・読書教育指導、図書館運営 ・道徳教育担当
- ・昼学習、補充学習 ・学力調査を基にした学力分析 ・評価

②教科研究部（全職員）

- ・算数科の授業研究
- ・外国語活動・外国語科の授業研究
- ※研究授業は、全クラス実施する。

③学年研修（毎週火曜日）※ 学期末は除く

- ・日常的に教材研究の交流をするため、学年研修の時間を設ける。
- ・授業実践の交流（児童の主体的な学びに有効だった発問・手立て、上手くいかなかったこと等）
- ・次時からの授業構想・進度の確認等

5 研究構想図

4つの資質・能力

表現力、課題発見・解決力、主体性・やりぬく力、共感力

自ら考え、表現する・やりきる・関わり合う

○算数科（柱となる教科）

① 授業研究 校内授業研究 ② 学力分析 各学力調査・ミニテスト

○外国語活動・外国語科

① 授業研究 ② 校内環境整備 日常的に外国語に触れる。

○ 特別の教科 道徳 ○ ICTを活用した学習 ○ 体育

○ 総合的な学習 ○生活科

○ 縦割り班学習

○ 日々の取り組み

① 基礎学力の定着・・・朝学習・昼学習・補充学習

② 意欲的・探究的な学習・・・自分で決めた課題

③ 学びの定着・・・学習規律の確立

○ 教師のファシリテート力

○地域の
「人・もの・こと」から
体験的に学ぶ。

○児童自ら課題を見つけ、
解決できる学習の計画

6 評価指標

- ①児童アンケート：「授業が分かる」「進んで学習に取り組んでいる」肯定的評価 85%以上
「授業で考えることが面白い」「自分の考えは、認められている」肯定的評価 80%以上
- ②単元テスト：各学年の正答率 80%以上，60%未満の児童 10%以下
- ③標準学力調査：全国平均以上の正答率（2.3年生）伸びがわかる学力調査 4～6年生
- ④指導者アンケート：「研修で学んだことを実践に生かしている」肯定的評価 85%以上

7 研究計画

日にち	
5月13日（金）	一斉研修・6年生
6月	5年生
7月	つくし学級（知・情1クラスずつ）
8月	一斉下校
9月15日（木）	一斉研修・2年生
10月	4年生
11月22日（火）	一斉研修・3年生
2月	1年生

- ・全員授業研を行う。
- ・研究授業の教科は，算数科で行う。
- ・つくし学級の授業研究を1回行う。（毎年7月に設定しているので今年も7月にしています。）